

通学路における放射線量測定結果について

通学路における安全を確認するため、平成24年2月22日に、市内小学校10校の中から南北1校ずつを抽出し、側溝コンクリート蓋の上・落ち葉の上・側溝グレーチング(鋼材を格子状に組んだ溝蓋)の上など、放射線量の高いと思われる地点で測定を実施しました。南では綾南小学校の25箇所、北では綾北小学校の27箇所、それぞれ地表高5センチメートルで3回測定し平均値を求めました。

綾南小学校では、最も高かった地点が毎時0.093マイクロシーベルトで、最も低かった地点は毎時0.057マイクロシーベルト、平均は毎時0.074マイクロシーベルトでした。また、綾北小学校では、最も高かった地点が毎時0.104マイクロシーベルトで、最も低かった地点は毎時0.048マイクロシーベルト、平均は毎時0.083マイクロシーベルトでした。どちらの学校の通学路も、基準値(毎時0.23マイクロシーベルト)を下回っていました。